



相内・太田・桂川地区



役員の方々



十三地区



盛元・磯松地区

## 関東地区ふるさと市浦会

### 満面の笑顔…

11月17日東京都で行われた「関東地区ふるさと市浦会」の際に行われた出身地区別に行われた記念撮影。懐かしい顔ぶれでの記念撮影に参加者のみなさんは満面の笑顔でした。

【関連記事 4～5ページ】

平成13年度褒賞式

功績があった五人、一団体が受賞

受賞者と功績内容

受賞おめでとうページです

11月3日(文化の日)、青森すなろホール市浦で、平成13年度市浦村褒賞式が行われ、これまでに功績のあった5人、1団体が表彰されました。

褒賞式には、関東在住の三人以外の受賞者が出席、高松村長の式辞の後、受賞者一人ひとりに賞状を授与し、功績をたたえました。

引き続き受賞者を代表して、金木高・市浦分校の西村教諭が「今回の受賞の感激を忘れることなく、今後も地域のための活動を継続し、村民のみなさまのご期待に添えられるよう頑張りたい」と謝辞を述べました。

受賞者と功績内容は、次のとおりです。



竹谷友三郎さん  
(脇元)



伊南市男さん  
(磯松)

平成十三年八月八日午前十一時頃、脇元海辺あいあいゾーン沖の海上でゴムボート遊びをしていた青年二人が、東からの強風にあおられてあつというまに沖合に流され、一緒に遊みに来ていた仲間から助けを求められた。その頃漁の準備をしていた竹谷友三郎さんと偶然にもその沖合で漁をしていた伊南市男さんが救助に向かい、ヤマセ特有の強風と高波の危険な状態の中、

午後二時二十五分頃青年二人を無事救助した。なお、お二人は平成十三年八月十四日に海難救助活動として、青森海上保安本部長から表彰を受けています。



葛西孝さん  
(埼玉県戸田市)

会員相互の親睦を図るとともに、ふるさと市浦の限らない発展に寄与することを目的に、市浦村出身者及び縁故者をもって組織し、東京都及びその近県に居住する者を対象に平成七年関東地区「ふるさと市浦会」を発足した。発足までの準備段階から村出身者に積極的に関与し、会をまとめるため、会発足と同時に会長に就任、以後三期六年務



成田文忠さん  
(東京都稲城市)

める。その間、毎年ふるさと市浦との交流会や会員、家族との納涼会等を開催している。今年五月より顧問に就任し、本会の運営及び活動に対して適切な指導、助言をされています。

昭和五十三年四月相内地区(太田、桂川含む)出身者で結成された「東京相内会」の顧問として、現在まで二十数年就任している。毎年、四月の第一日曜日には、上野公園で「相内の虫送り」を開催し、会員相互の親睦を深めているほか、虫送りの太刀、太鼓の確保や会員等の世話役となり相内出身者の心の支えとなつてきた。また、平成七年に結成された「ふるさと市浦会」では会員のまとめ役として積極的に奔走し、結成後は本会



鳴海憲也さん  
(神奈川県大和市)

昭和五十三年に結成された「東京相内会」の会長として就任、現在に至る。会結成前から関東地区に居住する相内出身者(太田、桂川含む)の親睦を図ろうと毎年四月第一日曜日上野公園で花見会を開催し、ふるさと意識の高揚と会員相互の親睦を深めてきた。また、花見会の際実施している虫送りの「太刀振り」は、会の恒例行事として定着し、ふるさと市浦のPRと誇りをおこしに結びつけている。平成七年に結成した「ふるさと市浦会」では、準備段階から積極的に協力し、結成と同時に副会長に就任、会の運営に寄与しています。

# 金木高校 市浦分校

校長 村上 謙 蔵

昭和五十一年から毎年市浦管内の海岸清掃を実施しているほか、学校ぐるみのボランティア活動を展開し、高齢者とのふれあい交流活動や村内の高齢者世帯等の除雪作業、煙突掃除等に積極的に取り組み、地域住民か

ら大きな期待と信頼を得ている。平成十二年度青森県ふれあい活動功労者として、県知事から感謝状を受賞している。



▶後列が団体受賞の市浦分校

## 秋の叙勲

### 鳴海弘美さんに勲六等瑞宝章

永年の消防団活動の功績が認められる

十一月十二日、青森県庁において消防功労による平成十三年秋の叙勲伝達式が行われ、元市浦村消防団 第一分団長 鳴海弘美さん(77歳)が勲六等瑞宝章を受賞しました。

鳴海さんは、昭和二十一年一

月に相内村消防団団員を拜命以來、三十三年余にわたり地域住民の生命財産を守り、民生の安定に貢献するとともに村の消防力向上に寄与した功績などが認められたものです。



▲叙勲の伝達を受け喜ぶ鳴海さん夫妻

## 感謝状贈呈

### 磯松海岸の風景画

# 『北辺』を寄贈



富永 静子 さん  
(東京都練馬区在住)

首都圏在住の村出身者とその知人を対象に募集した当村主催の「ふるさと体験交流事業」に参加、来村。その際描いた磯松海岸の風景画「北辺」二〇〇〇年市浦村・五十号の大作を寄贈

している。今回東京都で行われたふるさと市浦会で村から感謝状が授与されました。

### 富永静子さん 略歴

- 東京生まれ
  - 武蔵野美術短期大学卒業
  - '81中美展・新人賞
  - '82中美展・奨励賞、会員推挙
  - '83中美展・会員努力賞
  - '84中美展・委員推挙
  - '86中美精鋭40人展
  - '90中美展・中央美術協会賞
  - '95個展・展(ギヤラリー玉屋)
  - '99中美展・安田火災美術財団奨励賞
  - '00安田火災美術財団奨励賞展(安田火災東郷青児美術館) 個展(ギヤラリーGK)
- 現在、中央美術協会会員、賞選考委員

(セントラルアネットワークス) ヴィーナムールシニエリにて混合技法を学ぶ

- '89個展(ギヤラリー玉屋) 中美精鋭展
- (セントラルアネットワークス)
- '90中美展・優秀賞(郡山賞)
- 水彩二人展 (アートビヤラリーK2)
- '92中美精鋭展 (セントラルアネットワークス)
- '93中美展・中央美術協会賞
- '95個展・展(ギヤラリー玉屋)
- '99中美展・安田火災美術財団奨励賞
- '00安田火災美術財団奨励賞展(安田火災東郷青児美術館) 個展(ギヤラリーGK)

## 青森県農業会議会長賞受賞

### 村元 則美 さん (磯松)

村農業委員会 会長



農業委員会会長の村元則美さん。このたび青森県農業会議会長賞が贈られました。村元さんは平成四年農業委員に就任。長年にならぬ担い手農家の規模拡大と生産性の向上、農地集積の推進、農業経営の合理化など地域農業の活性化に貢献したことが認められたものです。

# 関東地区ふるさと市浦会交流会 東京都でにぎやかに開催

11月17日、東京都品川プリンスホテルにおいて、「関東地区ふるさと市浦会交流会」が開かれ、市浦会会員、村からの参加者合わせて150人が参加しました。



▶「かんばしい」



◀村の近況報告を兼ね、高松村長があいさつ

東京都で二年ぶりの開催となった交流会に先立ち市浦村褒賞受賞式及び感謝状贈呈式が執り行われ、関東地区に在住する四人（関連記事二・三ページ）の方々一人ひとりに高松村長から賞状が授与されました。

交流会に入り、高松村長がモリ林公園の完成や特別養護老人ホーム「すわんの里」の完成など近況報告を兼ね、二ヶ月市浦に来なければ市浦が変わっているという意気込みで全力投球している」と、鳴海正敬市浦会会長が「私たちが生まれ育つた市浦村のため何か協力しようというところで年々会員も増えていく。これからも皆で手を結んで、皆で力を合わせてふるさと市浦のためにがんばっていきましょう」とあいさつ。来賓として四国民舞輪の会会長である宮川和扇さん、青森県人会野島妙子副会長の祝辞の後、祝電の披露が



◀あいさつする鳴海会長

あり、工藤助役の乾杯で交流会が始まりました。

会場は、久しぶりに会う同級生や友人らとの会話で終始笑い声が響き渡り、出身地区ごとの記念撮影を行うなど、にぎやかに交流会が進められ、最後は参加者一同による市浦音頭で閉会しました。

## 木原光知子さんも駆けつける



▶会場にかけつけ、参加者にあいさつする木原さん

今回の交流会には、十一月十二日、村で講演を行った、スイングアドバイザーの木原光知子さんも会場に駆けつけ、「岡山出身の私が、岡山県人会の交流会にも参加したこともないのに、なぜか市浦村の交流会に駆けつけてしまいました。それだけ市浦という村が大好きになりました」と参加者にあいさつし、盛大な拍手を浴びていました。



# ふるさと市浦会・交流会

～参加者のコメント～



▲左が和嶋さん

和嶋

俊治さん 磯松出身  
〔東京都昭島市在住〕

今回初めて参加しましたが、このような盛大な交流会とは思わなかった。今後も参加の機会があったら続けて参加していきたいです。

加納

正彦さん 十三出身  
〔東京都羽村市在住〕



和嶋俊治さんとは、同じ会社に勤務しています。東京に来てから五十五年になる。この交流会ではやっぱり津軽弁が懐かしいですね。とても楽しい会になりました。

佐藤

弘子さん 相内出身  
〔東京都世田谷区在住〕

渡部

直子さん 相内出身  
〔埼玉県入間市在住〕

三好

みさ子さん 相内出身  
〔東京都立川市在住〕



私たちが二人は同級生です。今回で三回目の参加になります。同級生に会えてとても楽しいひと時を過ごすことができました。

こちらでは普段津軽弁を使わないのですがやっぱり聞くといふですね。交流会は回を重ねることに楽しくなっています。今後もぜひ参加していきたいです。  
〔千葉県印旛郡酒々井町在住〕

奈良

弘さん 大田出身



毎年行われている相内会の虫送りなども良かったが、市浦会の交流会も最高。これからも連続して参加したいです。  
市浦村への期待！若い人が住む村になってほしいですね。

石丸

七子さん 鮎元出身  
〔千葉県習志野市在住〕

成田

民江さん 鮎元出身  
〔東京都杉並区在住〕

阿部

和子さん 鮎元出身  
〔神奈川県横浜市在住〕



初回から毎回の参加です。村の食材（市浦牛、しじみ）を使った料理最高においしいですね。この交流会は、毎回参加を楽

しみにしています。  
米谷 継雄さん 相内出身  
〔神奈川県川崎市在住〕



昭和三十三年に集団就職で東京四十五年目になる。交流会には毎回参加しています。市浦村には勢いを感じる。毎年帰省するが、帰るたびに村の活性化には目を見張るものがありますね。現在、津軽民話教室の会主をし指する弟子も二十八位いるが、この市浦村の勢いを見習わたいです。

## ふるさと市浦会・交流会で110万円を寄附

宍戸 貞市さん（鮎元出身 横浜市戸塚区在住）

十一月十七日東京都で行われた、「関東地区ふるさと市浦会」の席上で、宍戸（旧姓・小寺）貞市さんより村に百十万円が寄附されました。

宍戸さんは、当村の鮎元出身で、現在は神奈川県横浜市戸塚区に在住。宍戸さんは「私自身



▲高松村長に目録を手渡す宍戸さん

## 健康維持に最適

しゅうらんと海遊館オープン一周年を迎える

### 木原光知子さんが 記念講演

しゅうらんと海遊館オープン一周年を記念して、十一月十二日コミュニティセンターで「水は人を元気にする」と題し東京オリンピック水泳競技日本代表で現在はスミミングアドバイザーとして活躍している木原光知子さんの記念講演が開かれました。

表選手に選ばれるまでの体験談を交えながら生徒たちを激励しました。

一周年を迎えた「しゅうらんと海遊館」に対して「私自身昨年、しゅうらんと海遊館で利用者在水中体操を指導したが、その日は東京に帰っても体がほかほかしていた」という例をお話

げ「健康という財産を持つていたら何でもできます。どんな海遊館を利用して健康を維持してください」と参加者にアドバイス。

今回は、今年八十三歳になる木原さんの母である木原あや子さんも来村。八十三歳になる現在でもボウリングや民謡の趣味を持つというあや子さんからは、「ポケない五箇条」が紹介されるなど、参加者には有意義な講演となりました。

## 今後も地域のために活動

市浦村商工会青年部が30周年

村商工会青年部(成田武司部長)が設立三十周年を迎え十一月十八日コミュニティセンターにおいて、記念式典を行いました。

式典には、関係者七十人が出席し成田武司部長が「今後も地域のためにさらなる活動を展開したい」とあいさつ。これまでの歴代青年部長を歴任した方々や青年部活動に貢献された方々に感謝状が成田部長より贈られました。

【感謝状受賞者】  
歴代部長

奈良 廣 悦  
萬谷 勝 則



▶市浦中生徒に「夢を持って」と木原さん

鳴海 義正  
中島 明雄  
山田 博伸  
米谷 正三



▲歴代部長に感謝状が贈られる

## よきいソニーランの鳴子を寄贈

天龍風神・しゅうら

このたび、天龍風神しゅうら



▲鳴子を寄贈する成田代表

(成田武司代表がよきいソニーラン踊りに欠かすことができない、鳴子をアトム保育園に寄贈しました。今回贈られた鳴子は二十個、三万円相当。寄贈は、よきいソニーランの普及と担い手育成につながるべしと行われたもので、今後は天龍風神のメンバーが、定期的な園児たちによきいソニーランを指導していくことになっています。

## 実取地区ほ場整備事業が完成

しゅん工式典を行う

平成八年度から事業を進めてきた実取地区ほ場整備事業が完成し、十一月二十二日



▲建立された記念碑

しゅん工に伴う記念碑除幕式が執り行われ市浦村土地改良区関係者、関係者、村関係者ら百人が出席しました。記念碑は実取地区ほほ中央に建立され、式では青森県知事(代理)、高松土地改良区理事長らが記念碑の除幕を行い、事業の完成を祝いました。実取地区ほ場整備事業は、整備面積が九十四ヘクタール、総事業費が十四億二千万円、五年の歳月を費やし今回完成に至ったものです。



# 地域づくりは人づくり 人づくりは生涯学習

教育委員会だより No.9

## 写真どみるみるふるさとまつり'01

### 遊びの世界



阿蘇部族の公演も16年目を数え、今年は新鮮力「ミチ」（平野道子さん、手前右）と「ナナ」（山田菜々子さん）もデビュー。

### 躍動感



天龍風神しうらによるよさこいソーラン。上ノ国町の応援出演、市浦小児童も一緒に踊るなど寒さもふっとびました。

### 文化

英語指導助手のAJ先生ももちつきを初体験。自分でついたもちはおいしかったか。



アトム保育園児もよさこいソーランを披露。



子ども達も茶の精神を学び、ふるさとまつりならではの雰囲気を楽しんでいました。



市浦小児童は、劇と踊りで会場を沸かせていました。

### にぎわい



11月3、4日の2日間に渡って開催。延べ2001人の来場者で盛り上がりました。

### 新発想



市浦消防署のコーナーでは、ロープの結び方、パソコンを使っての写真サービスが好評を得ていました。



役場職員ボランティアの会では、リサイクルバザーを実施。43,681円の売上金は、再来年2月に青森県で開催されるアジア冬季競技大会に寄附されます。

### 若い芽

よさこいで、旗を力強く振る柏谷社一郎くん（市浦小6年）



# ダンベル体操で体力づくりを 第32回 保健・医療・福祉計画会議

十一月十八日コミュニティセンターにおいて、第三十二回保健・医療・福祉計画会議が開かれました。

者のみなさんに喜んでもらえることやりがある。今後ほ地域に貢献したい」とさらなる活動を誓っていました。

同会議では、午前中に保健衛生協力委員の奈良しづ江さん、食生活改善推進員会長の松木芳子さん、村日赤奉仕団委員長の小田桐恭一さん、民生児童委員の越野清志さん、金木高校・市浦分校の塚本雅吾の五人が、それぞれの団体の活動発表を行い各団体で活動していくにあつての問題点などが発表されました。

午後は、「ダンベル体操による地域健康づくり」と題し同体操の考案者の鈴木正成筑波大学教授がダンベル体操の専門家としての講演を行いました。

参加者は実際にダンベルを使つての体操に「見た目よりも結構ハードで、効果がありそう」と感想を述べていました。



▲活動発表を行う各団体の代表者

会議では、三歳児健診虫歯ゼロ、国民健康保険優良家庭、献血功労者へ村から感謝状が贈られました。



▲鈴木教授の指導によるダンベル体操を行う参加者

## 国民年金 コーナー

★確定申告の時期が近づいてきました。

平成十三年一月から十二月までの間に納められた保険料は、「社会保険控除」として金額が所得から控除されます。申告できるのは、平成十三年分の保険料の他に、過去の期間で未納や免除を受けた分を平成十三年中に納めた保険料額になります。

また、ご自分の保険料だけでなく、家族の分として納めた保険料額も控除の対象になりますので、忘れないうちにして下さい。

平成十三年の保険料額

◆定額保険料(二月・十二月) 月額 一万三千三百円

年額 十五万九千六百円

◆付加保険料 月額 四百円

年額 四千八百円

▼詳しくは役場 国民年金係まで

☎六二二二二(一内七二)

## 消防・ネットワーク

火事と救急・救助は一一九番

### 秋の火災予防運動パレード

十月十五日から二十一日まで秋の火災予防運動が全国統一標語「たしかめて。火を消してから次のこと」のもとに行われました。

十月十五日には一日消防署長に新岡文字さん(十三)、一日消防団長に奈良綾子さん(太田)が任命されました。辞令交付後、消防幼年消防クラブの四者合同で村内を車輛で二巡し、村山食堂から市浦タイヤ前まで徒歩で防火パレードを行いました。

火災予防運動中消防署では防火対象物の査察(消防設備等の点検、確認、避難訓練指導など)を行いました。



### 消防防災展開催

十一月三日・四日に開催された「ふるさとまつり」に消防署では、ロープの結索の展示と体験、心肺蘇生法、小学校六年・中学校一年の防火ポスターの展示をしました。

パソコンを使った記念写真では、防火衣や空気呼吸器を着装しデジタルカメラで写真を撮り、その場でプリントし、オリジナルの表紙をつけて贈呈しました。







# 元気かい通信 その10

## 1周年イベントレポート

子供の部、女性の部、男性の部三つに分けてトーナメントが開催されました。予定していたよりも多くの参加チームがあり水の中で激戦が繰り広げられました。笑いや涙が有りの水中対決、いくらか力があっても滑ってしまいうるようには動けないようでした。

この激戦を制したのは子供の部「おぼっちゃん（山田君、成田君、葛西君）」女性の部「なんちゃって（福士さん、黒田さん、鳴海さん）」男性の部「鎌

**前夜祭**  
「水中綱引きトーナメント」

昨年11月のグランドオープンより1周年を迎えた海遊館。1周年を記念して様々な催し物キャンペーンが開催されました。参加された皆さんお疲れ様でした。今後とも村の行事としてこのイベントを定着させたいと思います。また、参加できなかった皆さんのために今回は1周年イベントをレポートしました。

初めての試み。一時間ぶっ通しでの音楽に合わせた水中運動の生き残り。三十名以上の参加者が集まりそれぞれ自分のペースで運動しました。「最初は一時間もたないなと思ってたよ」「えっ、もう終わり」との声が聞こえるほどに皆さん集中し充実していたようです。大回りは皆さんも参加してみませんか。終わった後の充実感としてビールは最高ですね。

**記念祭**  
「アクアサバイバル」



▲盛りあがりをみせた水中綱引き大会

ちゃん（鎌田さん、成田さん、對馬さん）」となりました。負けたチームは来年のリベンジを誓いトレーニングに励んでいるとか。



工藤美賀子さん

準ミス回遊館



野呂陽子さん

ミス海遊館

**記念祭**  
「ミス海遊館コンテスト」

記念すべき第一回の「ミスしゅうらんど海遊館」と「ミス元氣海クラブ」が十二日に発表されました。健康的な美しさが評価基準となるこのコンテスト、「ミスしゅうらんど海遊館」には野呂陽子さん（二十五歳木造町出身、「ミス元氣海クラブ」には会員の平野伸枝さん（二十七歳・相内）が選ばれました。ミスに選ばれたお二人には海遊館のイメージガールとしてポスター撮影やパンフレットなどで活躍していただきます。

### 12月から新しく身体をいたわるプログラムがスタートします

**皆さん**思い思いに1周年を楽しんでいたようです。海遊館も2年目に入ります。今後も更に皆さんと共に健康づくり、健康管理を充実させていきたいと思ひます。

12月からは水を使ったストレッチ体操や陸上でのストレッチ体操、水中での呼吸法によるリラクゼーションなどを行います。いままで「ちょっと

運動は…」「体力に自信がない」という方も無理なく、効果的に行えますのでぜひご参加してみてください。

特に腰痛、肩こり、身体の疲労感がある方にはお勧めいたします。

これからも進化する海遊館をよろしくお願ひいたします。

## 製造事業所の皆様へ

…統計調査にご協力ください…

12月31日現在で工業統計調査、石油等消費構造統計調査が同時に行われます。

### ◆工業統計調査

製造事業所の実態を調査します。

### ◆石油等消費構造統計調査

事業所30人以上の製造事業所の石油等の消費実態を調査します。

本年12月から来年1月にかけて調査員がお伺いしますので、ご協力をお願いします。

なお、調査票については、統計法に基づき秘密が厳守されますので、数字等の正確なご記入をお願いします。

経済産業省 青森県 市浦村

## ふるさと市浦会、会員募集中

関東地区ふるさと市浦会は、平成7年11月に関東地区周辺に居住する市浦村出身者及び縁故者を中心に組織されました。

新たに首都圏の方に転居された方、就職された方など新会員を募集しています。

年間行事として、総会・交流会などあります。また村広報紙送付の特典もあります。年会費は、一人(一家族)につき3,000円です。会員になって、会員同士の親睦をはりませんか。

### ▶お申し込み先

市浦村役場 企画財政課 ☎0173-62-2111

または、

ふるさと市浦会事務局 事務局長 伊南喜仁

☎03-3374-7860

## 青森県最低賃金

1日 4,830円

1時間 604円

(平成13年10月1日から適用されています。)

## 産業別最低賃金 平成13年 12月21日から

### 鉄鋼業

1日 5,768円

1時間 721円

### 電気機械器具製造業

1日 5,301円

1時間 663円

### 各種商品小売業

1日 5,266円

1時間 659円

### 自動車小売業

1日 5,600円

1時間 700円

### ▶お問い合わせ

五所川原労働基準監督署 ☎35-2309

## 合格おめでとう

第百二十三回全国商工会球算検定試験が十一月十七日市浦村商工会で開催されました。

受験者数が十五名で合格者は次のとおりです。

- ▼三級 成田綾美(辻分珠算学院)
- ▼四級 秋田谷美佑(辻分珠算学院)
- ▼八級 藤田崇洗(辻分珠算学院)

白川拓人(辻分珠算学院)

なお、発刊部数調整等の必要があるため、このたび縮刷版の仮予約を受付いたします。購入を希望する方は、役場



## 「広報しらふ縮刷版」を発行します

### 仮予約を受付します

「広報しらふ縮刷版」については、昭和五十七年五月号まで収録したものが発刊されていましたが、その後発行されていません。

今回、昭和五十七年六月号から平成十三年五月号まで(予定)を収録した「広報しらふ縮刷版」を発刊することになりました。発刊は、平成十四年三月上旬を予定しています。

なお、発刊部数調整等の必要があるため、このたび縮刷版の仮予約を受付いたします。購入を希望する方は、役場

役場企画財政課・企画広報係までお申し込み下さい。☎六二二二二二(内線一九

〇縮刷版仮予約の申し込みは

役場企画財政課・企画広報

係までお申し込み下さい。

☎六二二二二二(内線一九



### 五所川原税務署からのお知らせ

平成13年分の確定申告時期も間近となりました。税務署では、つぎの日程で収支内訳書や確定申告書新様式の書き方について説明会を開催しますので、ぜひ、ご出席ください。

	農業所得者 (青色申告者以外)	左記以外の事業者 (青色申告者以外)
日時	平成14年1月15日(火)	平成14年1月16日(水)
場所	中里町 総合文化センター 「パルナス」	中里町 総合文化センター 「パルナス」

説明会は午前10時からと午後1時30分からの2回開催します。

詳しいことは、五所川原税務署 個人課税部門 までお問い合わせください。(☎0173-34-3152)

### 市町村合併の推進に向けた 県の支援策について

…市町村合併出前講座…

研修会、集会等に県職員が出向いて、市町村合併について説明します。派遣に係る経費は、県が負担します。

なお、講座を希望する際は、事前に県市町村振興課広域行政担当(☎017-734-9077)または、役場企画財政課(☎62-2111)までお問い合わせください。

### 県内の交通事故概況

		青森県交通対策協議会	
10月中	年累計	シートベルト	
発生	857件 (883)	死者	13 (22)
死者	12人 (13)	高齢者の死者 ～65歳以上の人～	32 (38)
傷者	1,068人 (1,107)	自動車乗車中の死者	45 (63)
	9,728人 (9,341)	非着用死者	21 (36)
		着用していれば助 かったと思われる人	9 (16)

( )内は前年。累計は1月から。

### 市浦村の人口と世帯数

平成13.12.1現在

大字名	前月人口	人口	世帯数
相内	1,195	1,190	414
桂川	62	61	22
大田	255	255	86
鹽元	513	520	200
磯松	307	302	108
十三	779	778	258
計	3,111	3,106	1,088

### 放送大学学生募集

《あなたも放送大学で学んでみませんか!》

放送大学(教養学部)では平成14年度第1学期の学生を募集しています。

#### ◆出願期間

平成13年12月15日(土)～平成14年2月15日(金)  
放送大学は衛星放送等を利用した正規の通信制大学です。入学試験はありません。

#### 平成14年第1学期放送大学学院(修士科目生)も同時募集!

大学院の授業を1科目からでも学べます。入学試験はありません。

出願受付:平成13年12月15日(土)～平成14年2月15日(金)

※学位取得を目指す「修士全科目」の募集は終了しましたのでご了承下さい。

※入学資格等、詳しいことは募集要項をご参照ください。※募集要項は無料で送付します。

#### ▶資料請求・お問い合わせ先

〒036-8560 弘前市文京町1 (弘前大学創立50周年記念会館内)  
放送大学青森学習センター  
☎0172-38-0500

放送大学ホームページ <http://www.u-air.ac.jp/hp>

### 平成14年度 青森県立木造高等技術専門校生募集

#### ◆募集人員

溶接科・建築科・配管科各20名

#### ◆募集期間

14年1月7日(月)～2月20日(水)

#### ◆訓練期間

14年4月～15年3月(1年)

#### ◆応募資格

離転職者などで再就職のため、職業に必要な技能と知識を熱意を持って習得したい方(年齢・性別は問いません)。

#### ◆応募手続

願書に必要事項を記入し、最寄りの公共職業安定所へ(願書は公共職業安定所に用意してあります)。

#### ◆選考日

14年3月5日(火)

#### ▶お問い合わせ

青森県立木造高等技術専門校(木造町桜木17-2、☎0173-42-2424)又は最寄りの公共職業安定所まで。

# 健康への道

No.150

木枯らしが吹くこの季節。テレビや新聞で目にしたり、耳にするもの、そう、インフルエンザです。

インフルエンザは毎年、この時期になると流行するいやな病気です。このインフルエンザはかぜと似ているけれども、全く異なる病気です。

## インフルエンザの特徴

- ①三十八・五度以上の熱が続く
  - ②激しいせきがある
  - ③のどが強く痛む
  - ④関節痛や筋肉痛、腰痛などの痛みがある
- などです。また、十歳以下の子どもがインフルエンザにかかるとまれに脳症をおこして死亡する場合があります。高齢者や呼吸器、心臓などに病気を持つ人は重症化して死亡したりする人もあります。

## 知って備えよう!!

# インフルエンザ対策

### インフルエンザにかかったら?

- ①安静にして休養をとる
- ②部屋の湿度を保つ(六十~七十%)
- ③十分に水分摂取をする
- ④早めに受診する

### インフルエンザを予防するには?

- ①なるべく人混みを避ける
- ②外出後は必ずうがい、手洗いをする
- ③室内の乾燥を防ぐ(加湿器の使用、洗たく物を干すなど)
- ④十分な栄養をとる
- ⑤マスクを着ける

### 予防に有効な予防接種

前述した予防法に加えて、予防接種を受けることもインフルエンザから身を守るには有効な方法です。特に抵抗力の弱い六十五歳以上の方や乳幼児、妊婦の皆さんには、重症化を防ぐために効果的だといえます。これは、今年度、改正されたイン

フルエンザ予防接種法の中でも重要ポイントとしてあげられています。この予防接種はインフルエンザが流行する前に受ける必要がありますので、十二月中旬までに受けるのがより有効です。接種は十三歳以上が一回、十三歳未満では過去の感染による免疫がないこともあり、二回の接種となります。一歳未満の乳児についても二回の接種となりますが、小児科へ相談することをお勧めします。

この冬、家族そろって元気に過ごすためにインフルエンザの予防に心がけましょう。



# 戸籍の窓

## ▼お誕生

長利 凌太(太田) 豪美

## ▼ご結婚

- 植野 秋彦(太田)
- 石笠 奈津代(静岡)
- 石塚 佑介(玉)
- 三上 陽子(相内)
- 須藤 和孝(板柳)
- 岡本 聖子(磯松)
- 白川 優 傑(磯松)
- 佐藤 友美(青森)
- 工藤 和成(中里)
- 川村 弥生(相内)
- 丸岡 肇(相内)
- 秋田谷 愛子(桂川)
- 成田 直樹(藤崎)
- 相澤 公美(磯松)

## ▼おくやみ

- 山本セツ(相内) 67歳
- 三和タマ(相内) 95歳
- 三和勇一(相内) 79歳

## あとがき

木原光子さんの講演会では、木原さんの母あや子さんとも来村演台上がり参加者の皆さんに「ボケない五箇条」を紹介してくれました。その「五箇条」とは、

- ①仲間がいて気持ちの若い人。
  - ②人の世話をよくし感謝のできる人。
  - ③ものをよく読みよく書く人。
  - ④よく笑い感動を忘れない人。
  - ⑤趣味の楽しみを持ち旅の好き人。
- とか、皆さんは何個該当しましたか。(三三)



▲「ボケない五箇条」を紹介する木原あや子さん(右)